

入賞2名4作品 入選23人36作品 3部門5人



第二部（観光・産業）1席「幸福ゆき」

から急いでカメラを取り出し、考える余裕もなくシャッターを切りました。

第2部1席の作品の撮影地は余りにも有名な観光名所「幸福駅」。

これまでに多くの写真が発表されているので同じような狙い方でなく何か違った視点でと物色したところ、駅舎窓の周りに留められた切符が太陽光でピンク色に輝いているのが目に留まり、これを主役に決定。広角レンズでググッと寄り、さらに物語性を高めるためにカップルが通り掛かるのを待って撮影しました。

これからも一期一会を大切にしていきたいと思います。

<何かの参考になれば>

第1部2席作品  
 撮影日時:2016/06/28 19時頃  
 撮影場所:札幌市内  
 絞り: f /5.6  
 シャッター速度:1/90秒  
 焦点距離:26ミリ

\* 第2部1席作品  
 \* 撮影日時:2017/01/15 11時頃  
 \* 撮影場所:帯広市  
 絞り: f /10  
 シャッター速度:1/640秒  
 焦点距離:8ミリ

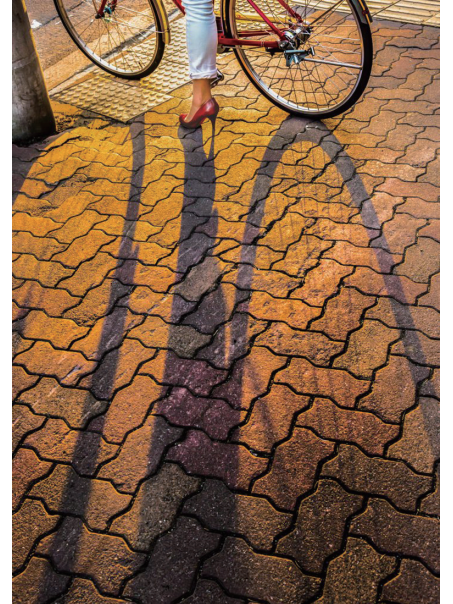
## 「気づきと狙い」

第1部2席の作品は、暖かく天気の良い日には自転車に乗って通勤していたときの1枚。その日の帰宅中自宅まであと数百メートル程に近づいた所で、自転車に跨って押しボタン式信号機が青に変わるのを待っている若い女性を発見。歩道上には夕日による綺麗な自転車の長い影、そして魅惑的な足とハイヒール！

「どうぞ信号が青になりませんように」と祈りながらバッグ



山形典夫さん



第一部（自由）2席「赤いハイヒール」



第二部（観光・産業）2席「8bit 架橋」



第三部（ネーチャーフォト）2席「シャンデリア」



安田敏彦さん

## 「2席のw入賞 驚きと喜び」

道展初応募から5年目にして今回初めて二席のW入賞と1部の入選通知でまず驚いて、次に嬉しさがこみ上げてきました。

今年は特にこれだと思う自信作が無く半分諦め気味だっただけに嬉しさもひとしおです。

二部「8bit 架橋」は、橋が塗装工事でパネルで全面

が覆われていました。昼間は特に写欲を感じなかったのですが、何度か通りかかると昔の8bitゲームのブロック画像のように感じとりわけ夜のライトアップがパネルに綺麗に反射しているのを見てこれだと思い、いろんなレンズで試行錯誤の末、結局14ミリの広角で狙いました。三部「シャンデリア」は、支笏湖に何度も通いやつと天気、気温、風、波の条件が揃ったの撮影でした。画面の下1/3は水中です。

1月の氷点下の夕方で、2~3枚写す度にレンズの水滴が白く凍る前に拭き取りながら、腹這いの自分は水中に身を浸すという繰り返しでした。数十分も水中に手を入れてるとシャッターを押す感覚がなくなってきました。

これからも、ジャンルにとらわれず好きなもの、感動するものを撮り続けようと考えています。